

大宮警察署からのお知らせ「相談ごとは#9110へ」

【相談専用ダイヤル「#9110」のご利用について】

○電話番号 局番なしで#9110

○受付時間 月～金曜日 8:30～17:15

※携帯電話、PHSからも利用可能ですが、ダイヤル回線の電話及び一部のIP電話ではご利用できません。

その場合は、警察本部県民安心センター総合相談係直通電話（☎029-301-9110）へお願いします。

【女性安心パートナーのご利用について】

県民安心センターでは、ストーカー、夫婦・恋人間の女性に対する暴力問題、性犯罪の被害に関する相談など、24時間体制で女性のための相談を受理する女性警察官「女性安心パートナー」を配置し、対応しています。

電話をかけたら、最初に女性の対応を希望する旨をお伝えください。

問 大宮警察署 ☎52-0110

募 集 市民大学講座受講生募集

～紙や和紙について学んでみませんか～

常陸大宮市では、茨城大学と連携のもと、毎年様々なテーマで市民大学講座を開講しています。

平成25年3月、常陸大宮市の「和紙生産用具と製品」が国の登録有形文化財となりましたが、今回の秋講座は、「和紙」や「紙」を取り上げ、以下の内容で実施します。

「紙」が果たしてきた文化的な役割、私たちの暮らしと「紙」の関わりについて、学問的ながらわかりやすく、楽しく勉強することができます。ぜひ、ご参加ください。

◎秋講座 「紙・和紙について学ぶ」(3回シリーズ)

[定員] 40名 [受講料] 1,500円(3回分)



第1回 11月14日(木)

〈紙と常陸大宮〉

講師 茨城大学人文学部
西野 由希子 教授

「西の内和紙」は、どのように生産され、どのように使われてきたか。地域の文化や歴史、生活に果たした役割を中心に、お話をしましょう。常陸大宮市の大切な伝統文化・伝統産業としての今後についても、一緒に考えたいと思います。

第2回 11月21日(木)

〈紙と書物〉

講師 茨城大学人文学部
真柳 誠 教授

「紙」は、暮らしのなか、様々な用途で使われるようになっていきますが、今回は「書物」「本」に焦点をあてます。中国の「線装本」、日本の「和綴じ本」などを実際に手にとっていただきながら書物のスタイル、印刷との関係など、「書物」の歴史や発展、意義についてわかりやすくお話をします。

第3回 11月28日(木)

〈紙とメディア〉

講師 茨城大学人文学部
古賀 純一郎 教授

メディアは、これまでの「紙」による「新聞・雑誌」や、ラジオ・テレビなどの放送から、デジタル・インターネットのメディアへと急速に変貌しています。「紙」のメディアの持つ役割、また新しいメディアがこれからどうなっていくのか、それとどのようにつきあったらいいか。「共同通信」で一線にあった講師が、具体的にお話をします。

※全3回の講座終了後、希望者は、実際の「紙漉き」体験・活動に参加できます。(別日開催)

○時 間 19:00～20:30(90分)

○場 所 市文化センターロゼホール2階会議室

○申込方法 11月8日(金)までに、受講料を添え本庁市民協働課までお申し込みください。

◎「和紙生産用具と製品」の関連記事が平成24年度発行の広報常陸大宮2・3月号に掲載されています。市のホームページからご覧いただけます。

広報常陸大宮2月号 (http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/data/doc/1364029953_doc_4_3.pdf)

広報常陸大宮3月号 (http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/data/doc/1364034059_doc_4_0.pdf)

申込・問 本庁 市民協働課市民協働G ☎52-1111 内線126・127